



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol.
687

平成31年4月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

今月の特集

第52回大山乳業農協通常総会

現場潜入

大山乳業農協の牛乳ができるまで

2019年度新入職員紹介

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

第52回通常総会



第52回通常総会が開催されました

平成31年3月25日（月）に第52回通常総会が、ジャコム中央トピア店3階大会議室において開催されました。

谷永理事による発声のもと、参加者全員による組合綱領唱和が行われた後、小前組合長の挨拶が行われました。

その後来賓として鳥取県農林水産部次長の永原知明氏、全国酪農業協同組合連合会常務理事の徳永幸男氏、鳥取県農業協同組合中央会参事の坂根康之氏、京都生活協同組合理事長の



組合長あいさつ



良質生乳出荷者表彰の様子

畑忠男氏より祝辞を賜り、また鳥取県生活協同組合理事長の浜江隆二氏にもご出席を賜りました。



永原次長



徳永常務



坂根参事



畑理事長



平成30年度表彰

敬称略

鳥取県優秀経営農林水産業者

知事賞 西山 友之（大山町）

良質生乳出荷者表彰

【琴浦町】横山 昭（連続5回）

石賀 英男（連続4回）

近藤 弘（連続3回）

池山 晃宏（連続3回）

手嶋 和博（連続3回）

【大山町】山下 正太（連続3回）

西山 友之（連続3回）

【琴浦町】（同）前田牧場（連続2回）

川本 和昭（連続2回）

【大山町】（株）ブッシュクロバーズ（連続2回）

【琴浦町】小前 孝夫

坂本 洋暁

陰山 光彦

千草 博行

【倉吉市】武本 正道

影井 正美

岡本 公宏

【岩美町】上村 隆光

板持 悦夫

【南部町】

琴浦町の三浦勝美氏を議長に選任し、総会に提出された左記9議案は、原案通り可決されました。

【第1号議案】定款の一部変更について

【第2号議案】

第69年度（平成30年度）事業報告、貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書及び剰余金処分案の承認について

【第3号議案】

第70年度（平成31年度）事業計画の設定について

【第4号議案】

第70年度（平成31年度）指導経費の賦課金の額、賦課方法、徴収時期並びに徴収方法の決定について

【第5号議案】

第70年度（平成31年度）理事の報酬額の決定について

【第6号議案】

第70年度（平成31年度）監事の報酬額の決定について

【第7号議案】

第70年度（平成31年度）余剰金の預け入れ先銀行の指定について

【第8号議案】

第70年度（平成31年度）加入金の額及び払込方法の決定について

【第9号議案】

第70年度（平成31年度）団体等に対する出資又は出金について

営業所レポート

京都生協「第21回商品大交流会」に参加しました

3月30日(土)、京都市勧業館みやこめっせにて京都生協「第21回商品大交流会」が開催されました。このイベントは生協組合員とコープ商品などのメーカー、産直商品の生産者が商品を交えて交流することを目的として、毎年3月に行われています。

今年の会場には90ブースが設けられ、『持ち物は、好奇心だけ』をテーマに各ブースで試飲試食や食育体験などが行われました。

大山乳業農協ブースでは牛乳・乳飲料の試飲やヨーグルト・菓子の試食をおこなったほか、等身大の模擬搾乳牛を使つての乳搾り体験で生協組合員の皆さんと交流しました。

牛乳の試飲では、120℃2秒間殺菌と72℃15秒間殺菌の2つの殺菌温度帯の牛乳で飲み比べをおこない、牛乳にも味の違いがあることを知っていただきました。

試食では、プチシュークリームが大変好評で、準備していた試食があつという間に無くなつてしまいました。

また、乳搾り体験もお子さんに人気で、当日参加していただいた生産者の谷永英樹さんの説明等もあり、良い体験ができたと思う多くの方に喜んで

いただくことができました。

生協組合員の皆さんより「せいきょう牛乳をいつも飲んでます」「大山の商品が大好きです」と多くの励ましの声をいただくことができました。

今回の交流会では生協組合員の皆さんと直接顔をあわせて、産直商品の良さを伝えることができたほか、産直商品をたくさんお試ししていただくことができました。

今後も産直交流を大切にして、まだ産直商品知らない方にも利用していただけるよう取り組んでまいります。
(京都営業所 谷口)



多くの生協組合員の皆さんにお越しいただきました



生産者による乳搾り体験のようす



試飲試食で賑わう大山ブースのようす



プチシューの試食は特に人気でした

イベントレポート

日本海テレビ開局60周年記念イベント「60祭」に参加しました

4月13日(土)と14日(日)に「コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク」内で開催された日本海テレビ開局60周年記念イベント「60祭」に白バラブースが出店し、来場されたのお客様に白バラ製品をご堪能いただきました。

今回参加したイベントは、日本海テレビが日頃の感謝をお伝えする場として10年毎に開催。「子どもたちへのプレゼント」をコンセプトに子ども達に人気の多彩なゲストと趣向を凝らしたイベントで会場は多くの来場者で賑わいました。

白バラブースでは、200mlの飲料やお菓子、4月発売の新商品アイスの白バラ牛乳バー・白バラコーヒバーを販売し、新商品を紹介すると共に、白バラブランドをPRしました。



2日間とも完売しました!!



大山乳業農協の 牛乳ができるまで

《第4回 製品検査・販売編》

**製品検査を通過して
いよいよ皆さんの手元へ**



先月号では、工場内に受入れた生乳が殺菌などの工程を経て、製品になるまでのようすをご紹介しました。

今回は完成した製品「白バラ牛乳」が、どのように工場から出荷され、皆さんのお手元に届くのか、製品検査の現場、そしてお客様の手に届くまでを探ってきました。

**白バラ牛乳は
出来立てが
安心・安全？**



皆さんが普段よく目にする包材に詰められ、白バラ牛乳が製造ラインを進んできます。しかし、すぐさまトラックに載せて出発とはいきません。受入れ時の検査を通過した生乳を使っているとはいえ、この状態ではまだ、安心・安全とは言えないのです。

大山乳業農協の製品は、私達の手を離れてから決められた期間、皆さんに安心・安全な製品として、口に運んでいただけるよう最後の検査が待っています。製品出荷前の最終工程となる「製品検査」です。



1 2



3 4



1. どの製品も検査を経て皆さんの元へ
2. 各ルート毎に冷蔵庫の製品がトラックへ
3. カウイーがついたトラックで出発！
4. まるごうの店舗にはずらりと白バラ牛乳が！
5. ご協力ありがとうございます(米子南店)
6. 今日も産直コブ牛乳を見つけました！

※営業時間 9:00 ~ 22:00



5 6



製品検査は、製造ラインから製品を抜き取り、検査を行います。ここで製品に適さないと判断されると、出荷されることはありません。

検査を担当するのは、品質管理部の職員。牛乳を製造する工場は、基本的に毎日稼働しています。そのため、製造に携わる職員はもちろんのこと、検査部門も工場と同じく交代制で日々、製品と向き合います。

製品検査での検査項目は、大きく分けて「細菌検査」、「成分検査」、「官能検査」の3つです。大山乳業農協では、検査技術の向上のため関連部署を対象に月に1度、官能検査講習会を実施するなど、常に厳しい基準で検査を行っています。

出来上がった製品の行方



出荷前の検査を無事通過した製品は、まず物流課の冷蔵庫に移動します。広い冷蔵庫内は、隅々まで冷気が行き渡っています。ここでは防寒着を着て仕分け作業をするほど。しっかり冷えた製品は保冷車で各取引先に出荷されます。

今回は、鳥取県内の量販店「まるごう」様と生協「鳥取県生活協同組合」様にご協力頂き、白バラ牛乳が出荷されてから消費者に届くまでの流れを紹介します。

まるごうグループは県内を中心に26店舗を運営する鳥取県では馴染みのある量販店です。1店舗あたり1日2000人ほどのお客様が来店される「まるごう米子南店」では白バラ牛

乳は1日に約200本販売されているそうです。店頭に並ぶまでの物流を早速追跡開始です！

物流課から出荷された白バラ牛乳は、まず米子市にある「まるごう」の商品センターへ納品されます。センターでは各店舗ごとに仕分けされ、次の日の朝には各店舗へ納品されます。早ければ、製品が出荷されてから2日後には、店頭に並べられます。

売り場を覗くと、POPやダミーを使って白バラ牛乳がお客様の目につきやすい工夫もして頂いていました。

一方、「鳥取県生活協同組合」は量販店とは異なり、鳥取県内の生協組合員に商品を配達しています。毎週、商品カタログが組合員に配られ、そこから商品を選んで注文し、注文の翌週に組合員に商品が配達されます。鳥取県生協の商品カタログでは、大山乳業農協の牛乳は「産

直コブ牛乳」としてお客様に親しまれています。

量販店と同様に物流課冷蔵庫から出荷された産直コブ牛乳は、鳥取市河原町にある鳥取県生協商品センターへ納品されます。同日の午前11時から組合員・班ごとに商品が仕分けされ、午後4時頃には、県内に4力所ある支所（東部・河原・中部・西部）に商品が移動します。翌日、各支所より組合員に配達され、商品が手元に届きます。

今日も「ありがとうございます」の言葉と共に、産直コブ牛乳が組合員の元へリレーされました。

今回は、パックの牛乳にスポットをあてましたが、次月号は大山乳業農協の宅配牛乳の配達現場へ潜入します。お楽しみに！



2019年度 辞令交付式・新入職員紹介

**新しい時代にも
「白バラ」の花を咲かせる**

大山乳業農協では4月1日（月）に辞令交付式が行われました。

同日付で異動辞令が発令された職員をはじめ、各課の先輩職員が集まる中、新入職員は小前組合長から授与された辞令書を見ながら、まだ呼び慣れない自身の配属先を丁寧に読み上げると、自己紹介と抱負、そして大山乳業農協に対する想いを発表しました。

小前組合長は辞令交付式の中で、「4月は年度が変わり、人事異動で配属先が変わるなど新入職員だけでなく、我々にとっても節目の月になる。これを機会に自らが掲げた目標の達成に向け、気持ちを新たに頑張つてほしい」と述べられました。

また、教えるを受ける立場から教える立場になる職員も増えるが、教える事で新たな気付きを持ち、自分の成長にも繋げてほしい、と職員全員の成長を願われました。

また、新元号「令和」が発表された事に触れ、「明日への希望と共に日本人1人1人が大きな花を咲かせる」という新元号に込められた思いを大山乳業農協と重ね、大山乳業農協も白バラの花言葉のように、それぞれが大きな

花を咲かせ、消費者に相応しい組合を目指して新しい時代を進んで行きたいと締め括られました。

**新入職員が抱く、大山乳業農協
白バラブランドへの想い**

「私は1人でも多くの白バラファンを増やしたい」「少しずつ着実に仕事を覚えたい」「どんなときも楽しむ気持ちを忘れずに」「ヒット商品を開発する！」「頼られる存在になる」「大山乳業農協の戦力になる」。

新入職員が発表した抱負は、それぞれの個性が現れたものでした。

今年は、臨時職員からの登用を含め総勢13名が入組。その内の10名が新卒採用で大山乳業農協へ入組しました。13人集まるとその個性も様々。研修中も随所にその個性が表れており、様々な考え方を持った同期1人1人がお互いを刺激し合い切磋琢磨して「次世代の大山乳業農協を担う力」になつてほしいと思います。

また私達も自分自身の成長はもちろん、彼らの成長を見守り、特性を伸ばしていきけるように大山乳業農協全体で若い力を育てていくことが大切だと感じました。

月刊 エンドーさん

皆さん今年のお花見には行かれましたでしょうか。「お花見」と言えば、ほとんどの人が桜の花を連想するくらい、桜は日本人に馴染み深いものです。

日本には桜の名所が数々ありますが、植えられている桜のほとんどは「ソメイヨシノ」という品種です。ソメイヨシノは江戸時代末期に作出され、明治以降に接ぎ木によって全国に広まりました。

というわけで、日本に植えられているソメイヨシノは全て、1本の原木より複製されたクローン個体なのです。全ての個体が同じ遺伝子を持っているため、ソメイヨシノは一斉に咲き乱れ、散っていくのです。

また、桜は自家不和合性という性質があり、同一個体の花粉では受粉をしません。クローンであるソメイヨシノは全ての花が同じものとなるので、人間が手を加えなければ、ソメイヨシノという「品種」は絶滅してしまうのです。

最後に1つ問題です。桜には開花を知らせる標本木というものがあります。東京は靖国神社の標本木が有名ですが、鳥取県の標本木はどこにあるかで存知ですか？答えはこのページの下にありますので、答え合わせしてみてください。

さて、春は出会いと別れの季節といいますが、実は「月刊エンドーさん」は今月号をもって最後となります。お付き合いいただきありがとうございました。

次の筆者が誰なのか、来月号は私も読者として楽しみにしたいと思います。



「1人でも多くの人が白バラ製品のファンに」彼らは新しい一歩を踏み出します

今や鳥取県民のソウルドリンクと言われる事も増えてきた白バラ牛乳。

彼らを応援するのは、先輩職員だけではありません。

酪農研修では、3戸の酪農家の皆さんが新入職員を受け入れてくださり、その中の1戸では、田中代表監事が搾乳を終えると、新入職員へご自身が酪農に向き合う思いや、鳥取県の酪農についてお話をしてくださいました。

田中代表監事から贈られた激励の言葉を1つ1つ受け取るように、真剣な表情で田中代表監事の目を見て話を聞く新入職員の姿が印象的でした。

今年度新卒採用の10名が担当するスタッフブログ(毎週水曜日更新)も、是非ご覧ください！



皆さん「自慢の牛乳」「私は白バラ牛乳を飲んで大きくなったんだ！」と応援してくださいます。ここ数年で「白バラファン」は県内だけでなく県外にも広がる中、やはり彼らも白バラ牛乳を飲んで育ち、白バラ製品が好きな「白バラファン」の1人。大山乳業農協が大切にしてきた製品づくりの精神は、次の世代へ受け継がれています。

いよいよ創立73年を迎える大山乳業農協は、創立100年まであと27年。創立100年を迎えるその頃、彼らがどのように次の世代へ大山乳業農協を受け継いでいくのか、楽しみです。

新入職員紹介(順不同)

前田 優作	松尾 菜穂	中林 凌	磯田 雅充	鈴木 もと	山根 千尋	徳岡 裕子	長谷川 梨乃	村崎 愁華	木田 幸宏	大曲 純矢	山崎 瑞季	原田 裕史
(京都営業所)	(営業課)	(営業課)	(営業課)	(製品開発センター)	(品質管理課)	(デザイン課)	(デザイン課)	(デザイン課)	(乳製品課)	(製造管理課)	(製造管理課)	(指導課)

私のオススメ

先月まで営業課や営業所の職員がオススメ製品を紹介してきました。今月は小前組合長のオススメ製品の紹介です！

私のオススメの製品は「のむヨーグルト」です。

ヨーグルトに含まれている乳酸菌はお腹の調子を整える働きもしますし、牛乳が少し苦手という方にも比較的飲みやすい製品だと思います。

私は宅配で750gのボトルタイプの白バラののむヨーグルトを配達してもらっていますし、関西方面に出張に出かけるときは、必ずと言っていい程180gの、鳥取大山ののむヨーグルトを買って飲んでいきます。ぜひ皆さん飲んでみてください。



白バラ牛乳と同じくらいオススメです

公益財団法人 鳥取県畜産振興協会 乳用牛放牧預託牛成績状況報告

単位：頭 平成31年3月31日現在

牧 場 名		区分	頭数	内 訳									
				育成牛	種付け対象牛			妊娠牛（月齢）					
					うち種付中	未種付	17以下	18～20	21以上	妊娠牛中のET			
うち妊鑑待ち													
鳥取放牧場	乳牛	548	135	171	119	45	52	242	76	140	26	77	
	割合（%）	100	25	31	22	8	9	44	31	58	11	32	
	鳥取放牧場計	乳牛	548	135	171	119	45	52	242	76	140	26	77
	割合（%）	100	25	31	22	8	9	44	31	58	11	32	
大山放牧場	乳牛	459	143	154	110	56	44	162	58	83	21	31	
	割合（%）	100	31	34	24	12	10	35	36	51	13	19	
	俵原牧野	乳牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		割合（%）											
大山放牧場計	乳牛	459	143	154	110	56	44	162	58	83	21	31	
	割合（%）	100	31	34	24	12	10	35	36	51	13	19	
総 計	乳牛	1007	278	325	229	101	96	404	134	223	47	108	
	割合（%）	100	28	32	23	10	10	40	33	55	12	27	

※1 種付けは、13ヶ月以上、体高127cmで実施

※2 妊娠牛月齢の割合及び妊娠牛中のETの割合は、それぞれ妊娠牛中の割合

ET実績（乳牛）

※実施数、受胎率は鑑定済みのもの

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.02	37	18	49%
H30.03	81	45	56%
H30.04	43	21	49%
H30.05	42	23	55%
H30.06	34	15	44%
H30.07	36	15	42%
H30.08	34	13	38%
H30.09	52	29	56%
H30.10	61	30	49%
H30.11	58	33	57%
H30.12	37	21	57%
H31.01	37	18	49%

AI実績（乳牛）

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.02	103	59	57%
H30.03	77	42	55%
H30.04	98	49	50%
H30.05	103	60	58%
H30.06	82	49	60%
H30.07	58	21	36%
H30.08	96	48	50%
H30.09	113	61	54%
H30.10	121	76	63%
H30.11	144	82	57%
H30.12	115	62	54%
H31.01	114	58	51%

平成31年3月分 生乳出荷量別生産者戸数

出 荷 乳 量	出荷戸数（戸）	
	平成31年	平成30年
100t 以上	15	12
80t 以上 100t 未満	3	3
60t 以上 80t 未満	11	12
40t 以上 60t 未満	12	12
20t 以上 40t 未満	31	36
10t 以上 20t 未満	19	24
10t 未満	22	28
計	113(+1)	127(+1)

輸入粗飼料の情勢

品 目	今後の改定要因			特 記 事 項
	品代	為替	フレート	
フレート			→	4月に予定されていた海上運賃一斉値上げは概ね回避されたが、一部の船社は各種チャージの値上げや、貨物が混雑している港に付加される新たなチャージの導入を開始している。今後も同様な動きが増えていくと予想される。大型連休中の各地コンテナヤードの稼働・営業日はまだ全て明らかになっていないが、連休前後の引き取りや、返却などかなりの混雑が予想される。
ビートパルプ	→	→	→	1月後半から2月にかけて中西部を襲った記録的寒波の余波が各方面に出てきている。日本向けビートパルプの出荷については今のところ大きな影響はない。主産地における新穀の作付面積は微増と予想されている。米国では乳牛 / 肉牛ともに飼養頭数は増加傾向にあり、ビートパルプを含む飼料需要は堅調に推移している。米中間の貿易問題により米国産を含めた飼料用穀物の需給地図にも変化が見え始めており、ビートパルプの新穀価格に影響を及ぼしてくると思われる。
ヘイキューブ	→	→	→	
スーダングラス	→	→	→	2019年2月単月のスーダンの輸入数量は前年比114.6%と大きく増加している。端境期に向かいつつある中での需要増により、18年産の繰越在庫がほぼない状態で新穀へ突入することになる。これまでの産地の気温は昨年よりも低く、早播きスーダンの作付は昨年より2～3週間程度遅れており、4月1日時点の作付面積は前年同月比64%となっている。これに伴い、収穫のスタートもやや遅れる見込みで本格的な作業は6月に入ってからと予想される。今年の種子相場は例年並みに落ち着いている。このため、昨年のような播種量由来による茎のバラつきは少なくなるものと期待される。
アルファルファヘイ	→	→	→	産地では例年よりも降雪量が多く雪解けが遅かったことから、新穀の収穫に向けての作業がやや遅れている。今後の天候次第だが、コロンビアベースン南部では5月上旬、北部では5月中旬頃から1番刈の収穫作業が始まる。産地在庫は低級品を中心に極めて逼迫した状況で、新穀を迎えようとしている。国内外からの強い需要に対応できるかは不透明であり、新穀の産地相場の予想では早くも強含みを唱える声が聞こえる。
USチモシー	→	→	→	新穀の作付面積は、18年産の産地相場が他作物に比べて相対的に高値で推移したことから若干増加するものと見込まれている。
カナダチモシー	→	→	→	産地相場については日本および韓国からの需要が安定していることから、大きな変動なく堅調に推移している。
オーツヘイ	→	→	→	早魃や収穫期の天候の影響によるオーツヘイの生産量の減少、並びに豪州国内の畜産農家からの需要増加により、産地在庫は例年よりも逼迫感がある。産地相場の高騰から日本向けの荷動きはやや落ち着き始めており、韓国では新穀が開始されるとともに、積極的に輸入量を増やしたため、その反動で直近の需要はやや弱まっている。このような一時的な需要の緩和は今後も定期的に見られるが、例年よりも産地の生産量が少ないことに変わりはなく、今後の産地相場も高値のまま推移すると思われる。
クレイングラス	→	→	→	3月15日時点の作付面積は前年同月比120%となっている。産地相場については、日本および韓国からの引き合いは一貫して強い状況が続いており、高値のまま推移している。このため、新穀の開始とともに日本および韓国からの買付が殺到し、産地相場のさらなる上昇が懸念されている。
ストロー類	→	→	→	グラス系種子の総作付面積は昨年比102.5%と増加する。このうち作付面積を増やしているのは、アニュアルライグラスとトールフェスクで、ペレニアルライグラスの作付面積は昨年比89.3%と減少する。種子の生産を予測する作付面積とストローの生産量は必ずしも比例するわけではなく、またヘーゼルナッツやホップなど他作物の生産も増加しているため、新穀に向けて産地の生産状況を注視していく必要がある。
ルーサンペレット (デハイ)	→	→	→	



集合写真

第30回 鳥取県 ブラック&ホワイトショウ が開催されました

平成31年3月21日(木)、鳥取県中央家畜市場において、第30回鳥取県ブラック&ホワイトショウが開催され37頭が出品されました。審査員は宮城県の酪農家 半澤善幸氏、デーリープリンセスは岡山理科大学専門学校の徳田梢さんをお願いしました。各部のチャンピオンは以下の通りです。

	出品番号	名号	父	住所	出品者
未經産グランドチャンピオン	403	ミキファーム ドアマン ラデュツク	ド ア マ ン	琴浦町	(同)三浦牧場
未經産リザーブチャンピオン	110	スターブライト ユニクス リンドセイ ET	ユ ニ ク ス	琴浦町	小 椋 剛
経産グランドチャンピオン	806	ミキファーム アフターショツク アトリー	アフターショツク	琴浦町	(同)三浦牧場
経産リザーブチャンピオン	805	ダンケー ローソリテイ エリーゼ	ローソリテイ	琴浦町	(株)岡村牧場

	順位	出品番号	個体識別番号	生年月日	名号	父 名号	住所	出品者	
1部	チャンピオン	110	15276-0622-5	H30.05.03	スターブライト ユニクス リンドセイ ET	ユ ニ ク ス	琴浦町	小 椋 剛	BS
	リザーブ	107	15462-6503-8	H30.05.24	ヒースクリフ ジョセフィン エピツク サリー	エツビツク	倉吉市	鳥取県立倉吉農業高校	
	3	103	15707-8566-3	H30.07.07	ウエストバレー ロメオ ジョージア アナミ	ジョージア	大山町	谷 幸司	
2部	チャンピオン	202	15636-5679-6	H30.04.24	オームスビー ペツシエ ボブ	アルタ5G	琴浦町	(株)岡村牧場	
	リザーブ	205	15398-0857-0	H30.02.13	トヨシマ セサミ ウメ シルキア フタゴ	シルキア	大山町	豊嶋 健	
	3	206	15166-6496-0	H30.02.07	ヒースクリフ ジョセフィン モーグル ワイン	モーグル	倉吉市	鳥取県立倉吉農業高校	
3部	チャンピオン	302	15636-1912-8	H29.11.16	ミキファーム アツトウツド マーグ	アツトウツド	琴浦町	(同)三浦牧場	
	リザーブ	301	13780-7788-5	H29.11.20	デーリーメード モントレー アライアンス	モントレー	倉吉市	高間 理拓	
4部	チャンピオン	403	15636-1906-7	H29.09.29	ミキファーム ドアマン ラデュツク	ド ア マ ン	琴浦町	(同)三浦牧場	
	リザーブ	402	15512-3678-8	H29.10.24	BC マドモアゼル カモミール ET	マツカチエン	大山町	(株)ブッシュクローバース	
	3	401	15376-5253-3	H29.10.30	アプレゲール クラウン シマー	ク ラ ウ ン	大山町	菅原 大介	
5部	チャンピオン	503	15473-5880-7	H29.05.05	オグランド ミステイ ドナンデール	ミ ス テ イ	北栄町	高浜 弘一	
6部	チャンピオン	607	15193-7471-2	H28.09.15	WRクレオ ジュニパー ハート	ジュニパー	琴浦町	陰山 光彦	BU
	リザーブ	601	14411-0552-1	H29.02.13	オグランド モーグル バンクイズ	モーグル	琴浦町	小 椋 剛	
	3	602	15293-5568-8	H29.01.24	キツシー メイフィールド フランツ	メイフィールド	大山町	岸本 英之	
7部	チャンピオン	708	14141-1321-8	H27.06.26	フアインビュー ローウアル ソファオモア	ソファオモア	大山町	谷永 英樹	BU BP
	リザーブ	705	15082-1741-9	H27.09.07	ミキファーム ザウルス エレベーション	ザ ウ ル ス	琴浦町	(同)三浦牧場	
	3	701	15082-1783-9	H28.02.11	ミキファーム ドアマン PT ギン ET	ド ア マ ン	琴浦町	(同)三浦牧場	
8部	チャンピオン	806	13777-1447-7	H24.01.22	ミキファーム アフターショツク アトリー	アフターショツク	琴浦町	(同)三浦牧場	BU
	リザーブ	805	13898-5426-0	H26.01.15	ダンケー ローソリテイ エリーゼ	ローソリテイ	琴浦町	(株)岡村牧場	
	3	804	13544-3417-6	H26.02.22	シユガー フェムコ サンディー ノンタン	サンディスター	大山町	(株)ブッシュクローバース	

BS:ベストショウマン 倉吉農高 高濱さん BU:ベストアダー BP:ベストプロダクション



大山乳業農業協同組合 からのお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

製造管理課

工場見学通路ゴールデンウィーク 特別開放のお知らせ

下記の日程で、牛乳・ヨーグルト工場の見学通路を開放致します。普段は予約が必要な見学通路が見放題!!ゴールデンウィークにご家族、ご友人、皆さんで是非、見学通路特別開放へご来場ください。

工場見学通路 GW 特別開放

2019年5月1日(水)～5月4日(土)

9:30～13:30まで

※受付は13:00までとなります



Q. 予約なしで見学出来るのはとてもありがたいのですが、予約制の工場見学との違いはなんですか?

通常ご予約を頂いてご案内する工場見学は、大山乳業農協を紹介するDVDを鑑賞頂き、その後見学通路を順路に沿ってスタッフがご案内致します。

今回の特別開放では、見学通路をご覧いただくのみとなりますが、開催時間内であれば時間や周りのペースを気にせず、思う存分、自由にご覧いただくことができます。少し覗いてみようかな?という方にもオススメです。また、当日は見学通路でスタッフがお待ちしていますので、ご質問などお気軽にお声かけください。



見学スタッフが皆さんの疑問にお答えします。



どの商品が見られるか、来てみてのお楽しみ♪

職員、組合員の皆様のご来場お待ちしております!

営業課

新商品発売のお知らせ

営業課より4月発売の新商品のお知らせです

4/1 発売 白バラ 牛乳バー



鳥取県産生乳をたっぷり50%使用。ミルク風味を大切にした素朴な味わいのアイスバーです。

4/1 発売 白バラ コーヒーバー



鳥取県産生乳をたっぷり50%使用。素朴な味の白バラコーヒーをアイスバーにしました。

4/1 発売 大山 カaramel林檎



カラメルソースで味付けしたほろ苦いりんご果肉をアイスと混ぜ合わせ、キャラメル風味のチョコで包みました。アイスとチョコの甘さが、奥行きのあるカラメルのほろ苦さと良く合います。

4/1 発売 大山 ラムレーズン



甘い香りできれいのあるラム酒「オールドジャマイカラム」をクリームとレーズンに加え、ホワイトチョコで包みました。コーンフレークが食感のアクセントになり、アイスのおいしさを引き立てます。

4/1 発売 白バラ 練乳氷バー



自家製練乳を使用したシロップに砕いた氷を混ぜ込み、乳風味にこだわった乳業メーカーならではのかき氷風アイスバーです。

4/19 発売 白バラ チーズシフォン



白バラ牛乳を使ったふんわりしっとり食感の生地に、白バラ牛乳とクリームチーズ入りのチーズクリームを詰め込んだシフォンケーキです。

ホームページ からのお声



どれもこれもおいしいものばかりで商品選別に困ってしまいます。今後他にはないユニークな商品を期待しています。(岐阜県)

千葉から移住して、初めて白バラ牛乳を飲んだときの、美味しさの感動は今でも鮮明に覚えています!牛乳ってこんなに美味しかった?と家族と話しました。(鳥取県)

東京では成城石井で買えるけど種類が限られていて残念です。日本中のバターを買ったけどこちらのバターが一番美味しいので常時2箱キープです。(東京都)

昔から変わらない味で牛乳は特に大好きです。赤いパッケージに牛の絵。スーパーでも見つけやすいです。これからも飲み続けていきます。美味しい牛乳をありがとうございます。(島根県)

いつも応援しています。これからも間違いなくお世話になりますので、未永く続けてくださるようお願いいたします。(鳥取県)

白バラコーヒーが大好き。これからもワクワクするような商品を作ってください。(福岡県)

白バラコーヒーを友人に勧められ初めて飲んだ時は衝撃でした!!めっちゃ美味しくてそれ以来毎朝白バラ牛乳を飲んでいます。毎日白バラ牛乳から1日が始まります。(大阪府)



カウイーの エブリディ!

さく:福井チーフ え:堀江あかね

鳥取県のカタチ



編集後記

新入職員の研修も折り返し地点を迎え、いよいよ配属先での勤務が始まります。彼らの成長と活躍を期待しつつ、私達も負けないように頑張っていこうと思います。

酪農だよりに関するご意見ご感想は下記のメールアドレスまで。

【email@dainyu.or.jp】
こちらのQRコードからもメールアドレスを取得できます▶



Dainyu-PICKUP!

フリーペーパー「まま・ここと」に大山乳業農協が巻頭特集で掲載されました

鳥取で子育てを楽しむママたちのコミュニティマガジンとして県内の医療機関や児童館を中心に設置しているフリーペーパー「まま・ここと」の2019年春号に大山乳業農協の魅力をギュッと詰め込んだ巻頭特集を掲載して頂きました。

特集では、おいしい牛乳ができるまで〜まるごと体験〜と題して

リバーズファームでの酪農体験や工場見学、もーもーカウイクラブの山下敏子さんと一緒にみるくレシピの中から緑色が鮮やかな翡翠（ひすい）団子を作るようすが紹介されています。

ぜひ、ご覧ください。



Dainyu-PICKUP!

大山乳業農協の玄関マットをリニューアルしました!!

4月より総務入口、第一工場お客様入口、カウイーのみるく館入口のマットのデザインを一新しました。

新しく設置したマットは、白バラマークを配置したもの、白バラ牛乳・白バラコーヒーをイメージしたものの3種類です。総務入口には白バラマークのマットを設置し、大山乳業農協に来られたお客様をお迎えしています。

第一工場お客様入口とカウイーのみるく館には、白バラ牛乳と白バラコーヒーのデザインが施されたマットが2週間に1度交互に設置されます。

それぞれに設置されたマットは、

見た目が華やかになっただけでなく、より大山乳業農協らしさにこだわったデザインとなりました。

この他にオリジナルマットは、鳥取ファーマーズガーデン、大山まきばみるくの里にも設置しています。



総務入口マット



第一工場入口マット



今回紹介するのは、昭和47年9月14日発行の酪農だより第128号。大山乳業農協における紙容器最初の牛乳はこのテトラパック社の機械から始まりました。

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから
当時の様子を覗いてみます

あの日・あの時

酪農だより vol.687



大山乳業農業協同組合

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/平成31年4月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp